

マスターズ、ねんりんピックの各大会で好成績続々

東川町出身の萩野
(旧姓小西)さん



東川町内在住の
植田さん

町内在住の高齢スポーツ愛好家の
方々が、各地の国内トップ大会で好成
績を続出しました。北町2、植田豊さ
ん(75)、本町出身での萩野敏夫さん
(80) 旧姓小西(東京東川会会員)
は、ともに第31回全日本マスターズ
陸上競技選手権大会(9月17-19日・
国立競技場、代々木公園陸上競技場
(東京)など)に出場。それぞれ優勝
2位、3位の快挙を飾りました。
植田さんは、80歳ハードル、300
歳ハードルの2種目に出場。80歳ハ
ードルは優勝(14秒94)、300歳ハ
ードルは準優勝を記録しました。
萩野さんは、砲丸投げ、円盤投げの
2種目。砲丸投げで準優勝、円盤投げ
では3位入賞になりました。
植田さんは、世界マスターズ大会
(2001年オーストラリア、200

7年イタリア)で、80歳ハードル決勝
で4位、5位入賞など、トップレベル
大会に出場、入賞を更新し続けていま
す。

萩野さんは、永山農業高校(現道立
旭川農業高校)在学時から陸上の強豪
選手で、実業団時代から円盤投げ、砲
丸投げのフィールド競技スペシャリス
トとして活躍を続けてきました。

一方、町社会福祉協議会ヘルパーの
金沢恵みさん(61)は、第23回全国健
康福祉祭ねんりんピック石川201
0(10月9-12日・金沢市など石川県
13市町)のスポーツ交流大会マラソン
(5キロ)女子70歳未満の部に出場
25分32秒で11位を記録しました。

光和地区の町有林を森と植樹

10月16日、光和
地区(標高500
メートル地帯)の
町有地で植樹が行
われました。



たりんご畑でし
た。りんご生産
を断念後、長い
間空き地になっ
ていました。皆
さんは、それぞ
れスコップを手
に苗木をしまか
りと植え固め、

として協力を得て、約1600平方メ
ートルにイタヤカエデ、クルミの苗木
250本ずつを植栽しました。
町内の北海道環境福祉専門学校の環
境保全学科で学ぶ学生25人、町森林組
合役員ら約60人が参加しました。
一帯はかつてヒメリンゴ生産を試み

大きな森に育つようお願いを託しました。
(株)二トリの北海道応援基金をいただ
いた植樹は、昨年エゾヤマザクラの苗
木を植樹した西町のコンサフィールド
隣接ふれあいグリーンパーク植樹に続
いて2年目です。

忠別ダム湖畔でエゾヤマザクラ植樹

10月2日、忠別ダムのダム湖畔散策
広場で第三小学校の児童14人がエゾヤ
マザクラの植樹をしました。

(財)北海道河川防災研究センター
(札幌)が忠別湖周辺整備事業として
行いました。広場外周に3年計画でエ
ゾヤマザクラを順次植樹し、春の桜が
美しい広場にしようというもの。町商
工会、観光協会、建設業協会も共催し、

子供たちと一緒に5年生程度の苗木70
本を植えました。

この日は忠別ダムを見学する忠別ダ
ム水源地域ビジョン「遊ing忠別」
(鈴木健治代表)主催の秋イベントも
同日開催となり、旭川市内などから参
加した親子連れ約20人がダム堤体下の
広場に植樹して森の再生に願いを込め
ました。

